



# 取付方法

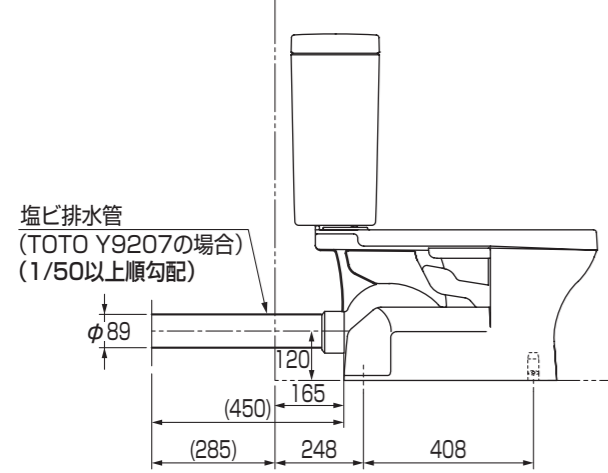
## 1 固定片の位置決めと取り付け

### <便器のけがき>

①下図を参照して、排水の接続が所定の位置になるように便器を仮置きし、便器取付木ねじの位置をけがいてください。

※このとき、便器中心線と便器の中心がほぼ一致するように注意してください。

<排水管の出代 165mmの場合> (単位：mm)



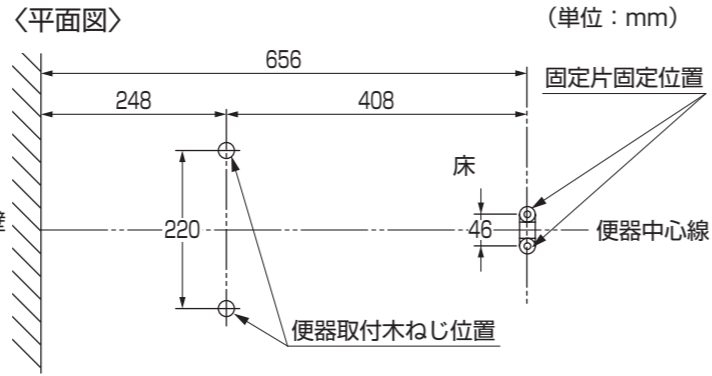
### <固定片のけがき>

②便器を外し、便器取付木ねじの位置を基準に便器中心線上に、固定片の位置をけがいてください。(下図を参照してください)

けがいた木ねじの位置に下穴(4カ所)を床にあけてください。

※φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。固定片をワッシャー・木ねじで2カ所確実に固定してください。

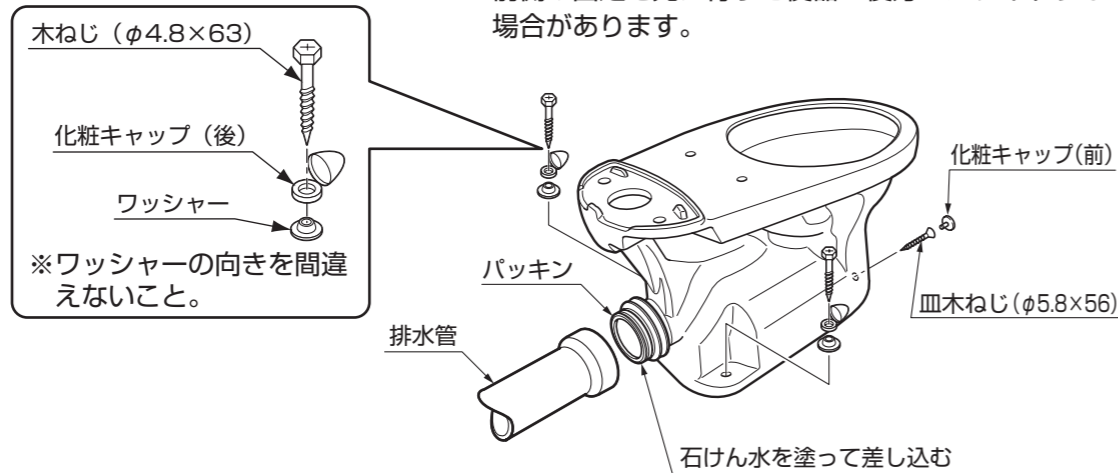
※ワッシャーを入れて、確実に木ねじを締めてください。



## 2 便器の固定

①便器排水口に接続パッキンを取り付けてください。

②便器を排水管に差し込み、木ねじで床に本固定してください。便器後部の固定を先にしてください。前側の固定を先に行くと便器が後方へスライドする場合があります。



※ワッシャーの向きを間違えないこと。

※木ねじを締め過ぎて便器を割らないようにご注意ください。

※壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。

※最後の締め増しは、**手締め**により行い便器を割らないように注意してください。

### 注意

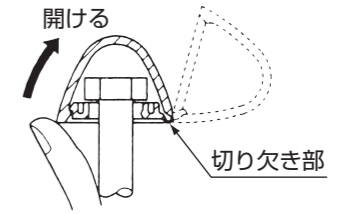
**必ず実行** 排水管を逆勾配にしない  
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

## 3 化粧キャップ付きねじの固定

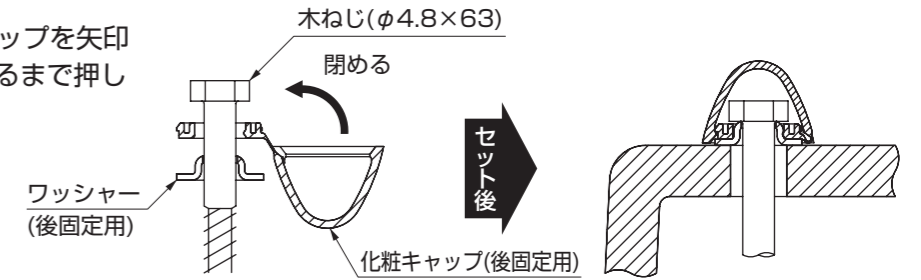
### <取り付けかた>

①最初に化粧キャップを開ける。

開けかたは、木ねじを手で持ち、切り欠き部をよけて化粧キャップの下部を矢印の方向に指で押し上げてください。

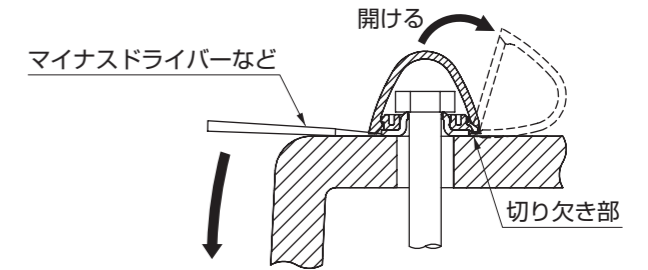


②木ねじを取り付けたあとは、化粧キャップを矢印の方向に曲げて、「パチッ」と音がするまで押し込む。



### <取り外しかた>

施工後に木ねじを外すときは、マイナスドライバーなどを使用し、化粧キャップの切り欠き部をよけて下部に差し込み、矢印の方向に押さえて開いてください。



## タンクの取り付け

タンクの取り付けはタンク同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

## 取り付け後の確認

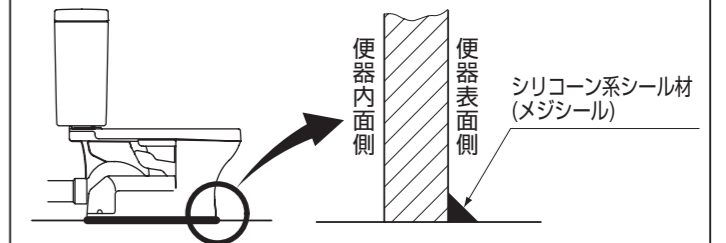
・試運転(洗浄)後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。

・陶器表面に傷がないことを確認してください。陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で軽くこすって除去してください。

・施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ(コーキング剤、配管用接着剤など)の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

## お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。フローリング(木質系)を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコン系シーリング材(メジール)を充填することをおすすめします。



### 防振シート HR800S (別売品)

集合住宅(RC構造)では、トイレの小便時の音が階下へひびくことがあります。TOTOの防振シートは、床上排水タイプの腰掛便器と床の間に取り付けることで、床を通じて階下へ伝わる小便行為音(伝搬音)を効果的に低減しますのでご利用されることをおすすめいたします。

防振シートの厚み分(5mm)、排水・壁給水接続位置が上がりますのでご注意ください。